

坪生学区まちづくり推進委員会

委員長 掛谷 泰彦

（問合せ先） 084-947-2411（坪生公民館）

●地域まちづくり推進事業●

事業内容

- (1) 坪生ふれあい夏まつり（8月10日）
- (2) つぼうふれ愛フェスティバル&防災訓練（11月10日）
- (3) 健康ウォーキング&とんど祭り（1月12日）
- (4) 広報誌発行および企画作成全般（年6回）×3，300枚 各戸配布
ふくやま東部文化フェスタ2020
「ふくやま東部まちづくり博覧会～まつり編～」ポスター企画および作成
- (5) 福祉関連事業 つぼう福祉講演会（11月30日）・学区敬老会企画，立案
- (6) 環境衛生推進事業 廃油回収（年4回）・環境美化運動（公民館内グリーンカーテン，路肩，交差点への植栽活動）
- (7) 防災訓練（11月10日）
避難場所選定の方法および注意事項（防災リーダー）（1月15日）
- (8) 安心安全に関する事業 環境衛生部会と共同事業「防災および環境施設見学」（7月11日）・地域防災マップ見直し，企画，立案・交通安全教室（7月23日）・防犯講習会（2月22日）・登下校見守り活動の組織づくり
- (9) コミュニティー育成事業（通年24町内会）（春・秋一斉清掃 4，000人）
- (10) まちづくり推進委員会運営事業 運営のための連携会議の実施・町内会の再編・支援・総会・各部会（広報部会・安心安全部会・環境衛生部会・福祉部会・ふれあい部会 まちづくり合同会議を計79回開催）相続法講習会（1月25日）



環境美化運動



ふれあい夏まつり



防災および環境施設見学



東部文化フェスタのポスター作成

成果

人員動員数の見直しなど役員への負担軽減策を講じながら，町内会（自治会）や各種団体と連携してまちづくり事業を進め，協力して実施することで住民の絆が強まった。

課題

各役員が高齢化，固定化している現状があり，次世代育成が可能な環境を作っていかなければならない。継続可能なまちづくりに向けて事業内容の精査が急務となっている。



ふれ愛！ささえ愛！のまち坪生



◆地域まちづくり計画推進事業◆

防災訓練にて要支援者と共に避難する方法を学びました！



アイマスクを使った
避難体験



車椅子での避難訓練



聴覚障がい支援者の皆さん

今年度は要支援者の方との避難を想定した防災訓練を実施しました。円滑に避難行動を実施できるよう、緊急時の防災知識や技能を習得することを目的に車椅子での避難方法やアイマスクを使った疑似体験などを行いました。

日頃より避難行動要支援者への支援をされている学区ボランティアの方が率先して耳の不自由な人への対応の方法をお話される場面もあり、町民同士の助け合いの心や繋がりを深めることへの重要性についても学ぶ機会となりました。

防災マップ見直し事業



坪生学区まちづくり推進委員会の安心・安全部会が主体となり、防災マップの見直し事業を立ちあげました。各町内会に過去の災害事例の調査と災害ごとに避難場所を再検討してもらうよう依頼し、適切な避難計画の立案に向け取組を進めています。また、学区の防災リーダーによる避難場所の見直しに関する防災についての講義を設け、適切な避難場所の選定方法を学びました。2020年度の防災マップ完成に向け、鋭意制作中です。

子どもの見守り活動



今年度より安心・安全部会が学区防犯組合と協力して児童の登下校の見守り活動を実施することになりました。通学路の見守りや声掛けを地域の方々のサポートを得て継続して行っています。より適切な活動が実施



下校時の見守り活動の様子



防犯講習会

できるよう、交通面での注意点などを学べる防犯講習会を行いました。また、PTA及び坪生小学校や坪生幼稚園と連携を取りながら子どもを対象に交通ルールや安全な自転車の乗り方を学ぶ交通安全教室を実施し、子どもから高齢者までの幅広い世代が共に交通や防犯について学び、交流を深めるきっかけにもなりました。